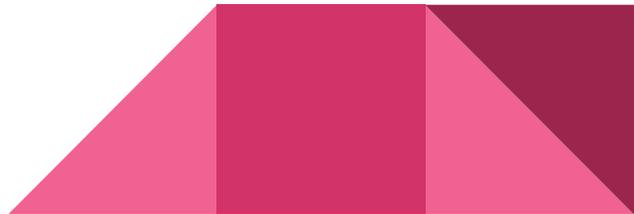


読み太 アピール文書

2018/3/30 塚本隆三

自己紹介

- ・世界コンピュータ将棋選手権は第26回から参加させて頂いております。
- ・開発自体は4年前から行っています。プログラミングを覚えたのもそれくらいからです。
- ・毎回ノートパソコン1台で出場していました。
- ・ノートパソコンでの出場を期待されている方は、ごめんなさい。今回は違います。



評価関数

- ・3駒関係+手番評価(KPPT型)です。
- ・第5回電王トーナメントで使った評価関数に追加学習を行いました。
- ・depth8で200億局面の教師局面を作りました。
- ・現時点でWCSC27のelmoに勝率75%程度の強さです。

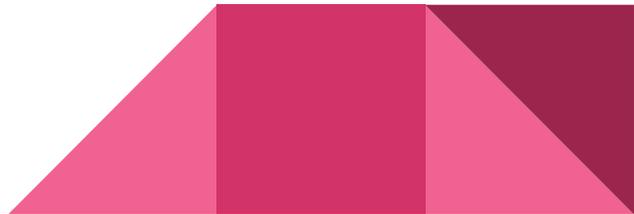


疎結合並列探索

- ・疎結合並列探索(クラスタ並列探索)を行います。
 - ・Amazon EC2 を利用します。c4.8xlargeを16台借りる予定です。
 - ・並列化アルゴリズムに関しては「技巧」を非常に参考にさせていただきましたので、ライブラリとして申請させていただきました。
 - ・「技巧」は並列化部分のソースを公開している唯一のプログラムであり、並列化に限らず、将棋プログラムとしての設計が非常にきれいで私の好みであることが選定理由です。
- 

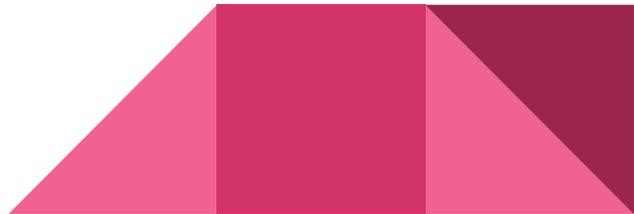
Byteboard

- ・Byteboardというデータ構造を使っていますが、現時点ではBitboardよりも高速化できていません。どうやらByteboard本家である「たこっと」とは少し違った実装をしていたようです。
- ・指し手生成にByteboardを使ってはいけないそうです。びっくりしました。
- ・大会までに余裕があれば使えるようにします。(Byteboardで高速化できる部分はボトルネックになっている部分ではないので、どうしても後回しになってしまっています)



その他

- ・Linuxでの開発に戸惑っています。
- ・AWSの使い方が難しいです。
- ・学校を卒業したので、もうパソコンが借りることができなくなりました。今まで快く貸してくださって、近畿職業能力開発大学校の先生方には本当に感謝しています。おかげでとても強くなりました。



最後に

- ・読み太はStockfish、やねうら王、Apery、技巧を参考にさせて頂いております。感謝申し上げます。
- ・ハードウェアが強くなった分、もう言い訳はできません。全力の読み太にご期待ください。

